

2019情報通信月間参加行事 報告書

行事ID	A006	行事名	ICTサロン
行事形式	ICTセミナー等	主催団体	北海道テレコム懇談会
開催日	2019/6/11	開催場所	ESTESTEST
行事参加者数	42名	WebサイトURL	

行事实施概要・アピール等

「情報銀行やパーソナルデータストアの社会実装:パーソナルデータを適正に活用できる社会に向けて」と題して、東京大学大学院情報学環 副学環長・教授 越塚 登 氏からご講演いただきました。

講演では、まず、データ駆動型社会におけるデータを取り巻く状況としてオープンデータ、産業データの使われ方について、その後、個人データの基本的な考え方、そして日本での3つのアプローチ(PDS、情報銀行、データ取引市場)分類、IoT時代でのパーソナルデータを適切に積極的に利用した各種のサービスや、物流の効率性とプライバシーが向上する実証例をお話いただきました。

アンケートで寄せられた感想には、以下のようなものがあり、非常に有意義な時間となりました。

- ・ 物流にpersonal dataを使う方がプライバシー保護につながるというのは新鮮でした。
- ・ 「プライバシーを守るためにパーソナルデータを使う」という発想は、パーソナルデータ活用に嫌悪感をもつ人々に理解を求める上での大きな鍵になると感じました。
- ・ パーソナルデータの積極的な活用について考え方が変わった。
- ・ パーソナルデータを公開することが個人情報の安全な利用につながるということが印象に残りました。
- ・ 情報銀行の光と影を知ることができました。パーソナルデータも活用の仕方次第ですね。
- ・ GAFA所有0.1%でしかない。GAFAもパーソナルデータの分野では失敗してきた。個人情報は資産→情報銀行に預ける。パーソナルデータを有効に活用すれば個人情報の保護につながる。大変わかりやすいお話でした。

←ロードバース...セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。

